

茨戸川

発行
石狩翔陽高校
生徒会執行部
2025年5月22日
第2号

教育実習生からのメッセージ

失敗しても大事な思い出

今年度、石狩翔陽高校には6名の教育実習生が教員になることを目指して実習を行っている。新聞局は実習生にインタビューを行い、私たちの一番身近な先輩からのアドバイスとして、高校生活の過ごし方や大学生活などを語ってもらった。2回に分けて掲載する。

- ①墓田涼一郎・北海道医療大学看護福祉学部福祉マネジメント学科
- ②部活動を一番頑張っていたと思います。私は吹奏楽部だったのであまりにも本気になりすぎてコンクール時期は後輩を怒って泣かせてしまいました、、、(笑)
- ③1つは英語をもっと勉強しておけば良かったです。海外の方ともっとコミュニケーションがとれば、多文化交流も深まり、楽しいだろうなど。もう1つは、もっと制服で写真を撮っておくべきだったと思います。何気ない日常の写真とか今のうちに撮っておきましょう。
- ④面接練習を徹底して行いました。なぜ北海道医療大学に行きたいのか、そこで何を学びたいのかを明確に話せるよう努力しました。
- ⑤介護実践は2年間通して面白く、楽しく、成長できる科目でした。実技を通して、介護の楽しさを学んだり、体験できることがたくさんあって面白かったです。この授業をとって良かったと思える大好きな授業でした。
- ⑥学部・学科が複数あるため、多くの人と関わる環境なのが面白いです。専門的な授業も多くなり、勉強は大変ですが、親身で優しい先生がたくさんいらっしやるので、毎日楽しく通えています。
- ⑦もっと福祉の現場での経験を増

やし、多くの人と関わりたいです。少しでも福祉の良さを伝えられる人になりたいです。

⑧辛いこと、苦しいこともあると思います。しかし、その経験があったこそ、乗り越えたときに成長につながります。辛いこと、苦しいことから逃げず、やり遂げてほしいです。あと、友人を大切に、人に頼る事も重要です。たった一度きりの人生、楽しみましょう!!



- ①藤田空音・北海商科大学商学部商学科
- ②私は生徒会活動を一番頑張っていました。在学中は生徒会長を務めていたこともあり、何よりも頑張っていました。当時は辛いこともたくさんありましたが、今思えばとても良い経験だったと胸を張って言えます。
- ③もっとたくさんさんの検定をとっておけば良かったと思います。英検や漢検の他、翔陽ではパソコン関係の検定をとることができます。

進学でも就職でも使える学力は武器になると思います。取れる資格は取っておくと将来楽だと思えます。

④大学には推薦で入学したかったので、1年次の頃から良い成績を維持することを努力しました。定期テストや提出物はもちろん、普段の授業やボランティア活動など、評価を上げるために過ごしていました。成績に関しては今から上げる努力をしても遅くないと思います。

⑤私の好きな教科は簿記です。翔陽で初めて触れた科目でしたが、当時教えてくださった先生がとても良い先生で、のめり込んでいました。違う数字を計算しているのに最終的にすべて同じ数字になる感覚がおもしろいと思います。

⑥大学では自分で好きな授業を選びますが、その点は翔陽と大差ありませんが、どういう授業をやるのかなどの情報はホームページから自分で確認する必要があります。自己管理がしっかりできないと簡単に置いていかれてしまいます。そういった面が翔陽との違いであり、大変なところですね。

⑦私の夢は私の体験を教師という仕事を通していろいろな人に伝えることです。私は今までいろいろな経験をして、たくさん挫折してきました。決して上手くいっていない人生ではないのですが、こんな



私だからこそ、伝えられることがあると、私は信じています。私の体験を通して、これから出会うたくさんの生徒の支えになりたいと思っています。

⑧高校3年間はとて貴重な時間です。勉強や部活動など「高校生」の時にしかできないことを一杯楽しんでほしいと思います。大人になって高校生の時を振り返ったとき、大きな後悔がないように、全力で日々を過ごしてください。全力でやって失敗しても、大事な思い出になります。ぜひ高校生活を全力で楽しんでほしいと思います。